

製品名: PJ-006 Polyurea-B (標準型 006)

会社名: Polyurea Japan, Inc. 整理番号: PJ006/02 判番号: 03 2019/10/14



安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)

PJ-006 Polyurea-B (標準型 006)

供給元

会社名

ポリウレアジャパン株式会社

住所

〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-16 第3粕谷ビル7F

電話番号

03-6381-5305 (24時間365日受付)

ファックス番号

03-6381-5306 (24時間365日受付)

e-mail

info@polyurea-jp.com (24 時間 365 日受付)

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

ポリウレア塗料原料

使用上の制限

一般工業用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

危険有害性の分類に該当するという情報はありません。

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)

急性毒性 (経皮)

急性毒性 (吸入)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

呼吸器感作性

皮膚感作性

環境に対する有害性

危険有害性の分類に該当するという情報はありません。

*記載がない危険有害性は、「区分外」、「分類対象外」または「分類できない」である。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害。皮膚に接触すると有害。吸入すると生命に危険。重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。重篤な眼の損傷。吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

注意書き

安全対策

粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。呼吸用保護具を着用すること。取り扱い後はよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当を受けること。吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

喚起の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を現地/地域/国/国際法律に従って処理すること。

想定される非常事態の概要

吸入すると生命に危険。重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。皮膚に接触すると有害。飲み込むと有害。吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

製品名: PJ-006 Polyurea-B (標準型 006)

会社名: Polyurea Japan, Inc. 整理番号: PJ006/02 判番号: 03 2019/10/14

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
成分

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示整理番号		W%
		化審法	安衛法	
Polyether Polyamine	9046-10-0	-	10-1723	<75
2,4-DETDA	2095-02-5	3-3638	-	<20
2,6-DETDA	2095-01-4	3-3639	-	<5
その他助剤	-	-	-	<10

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移す。呼吸していない場合は、一方向弁付き携帯マスクまたは適切な呼吸医療機器を使用して人工呼吸を行う。直ちに医師に連絡すること。治療は一次刺激または気管支痙攣に対して対症療法的である。呼吸が苦勞している場合、酸素は有資格者によって与えなければならない。

皮膚に付着した場合

皮膚に触れた後は、汚染された衣服を脱ぎ、患部を温かい石鹸水で十分に洗い流す。刺激、発赤、または灼熱感が現れ、それが持続する場合、直ちに医師の手当を受ける。汚染された衣服や靴は再使用する前に適切に洗濯すること。MDIの研究では、ポリグリコールベースのスキנקレンザーやコーンオイルが石鹸や水よりも効果的であることが実証されている。

眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。刺激が続く場合は、水洗を繰り返す。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

医療従事者の指示がない限り、嘔吐させない。意識のない人に口から何も与えない。患者が、意識があり、飲み込むことができる場合、口を水で洗い流し、直ちにコップ2杯の水（360ml程度）を与える。嘔吐が起こった場合は、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。直ちに医師の手当てを受ける。

応急措置をする者の保護

医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じて処置すること。

5. 火災時の措置

燃焼性分類

該当なし

引火点

> 185°C (364° F)

自動発火温度

なし

燃焼限界

LEL (爆発下限界): 不明 UEL (爆発上限界): 不明

消火剤

粉末消火剤, 泡, 二酸化炭素, ハロゲン化剤: 泡立つことがある

使ってはならない消化剤

水

火災時の特有の危険有害性

熱にさらされると、有害な蒸気/ガス（腐食性ある窒素酸化物）が生成されることがある。加熱および火災により、密閉された容器は（圧力の上昇により）爆発することがある。緊急事態の間の分解生成物への過度の暴露は健康被害を引き起こす。症状がすぐに明らかにならない場合がある。医療機関に連絡する。

特有の消化方法

火にさらされた容器を冷却するために水を使用する。もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動させる。流出水は環境に有害性の懸念あり。

タンク、鉄道車両、または
タンクローリーが火災に巻き
込まれた場合

全方向に800メートルの間隔離する。あるいは最初から全方向への800メートルの避難を検討する。

消化を行う者の保護

消防士は、消防士は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具(SCBA)を装着しなければならない。PVCブーツ、手袋、安全ヘルメットおよび防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護
具及び緊急時措置

人々を即時に安全な場所に避難させる。
蒸気の吸入を避けるために風上に保つ。閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。

製品名: PJ-006 Polyurea-B (標準型 006)

会社名: Polyurea Japan, Inc. 整理番号: PJ006/02 判番号: 03 2019/10/14

環境に対する注意事項	清掃は訓練を受けた担当者のみが行う。大量の漏出を取り扱う人は、呼吸用保護具を含めた完全防護服を着用する。適切な保護具を使用する（セクション 8 参照）。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。 安全を確認してから、流出防止の措置をとる。土壌、水路、排水溝下水道への放出を避けること。
清掃方法	乾式化学吸着剤で少量のこぼれを取る。大量にこぼれたものは、ポンプまたは真空掃除機で吸い取り、乾式化学吸着剤で仕上げる。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	全ての着火源を取り除く。 大量の漏出: 危険を伴わずに出来る場合には、物質の流れを止める。可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。パーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、廃棄のため容器に収める。水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。 少量の漏出: 布等の吸収材で拭き取る。残った汚染を除去する為に床をよく清掃すること。元の容器に回収して再使用することは絶対に避けること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項

取扱い/保管は慎重に行うこと。適切な保護具を着用する。使用中は飲食や喫煙をしないこと。取扱い後は手をよく洗うこと。環境への放出を避けること。排水路に流してはならない。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。本物質を皮膚に接触させないこと。本物質を眼に入れないこと。本物質を衣服に接触させない。長時間の暴露を避けること。使用前に十分に拡散すること（約 60 分間）。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。静電気放電に対する予防措置を講ずること。

接触回避

適切な衛生対策

『10. 安定性及び反応性』を参照。
 使用中は飲食や喫煙をしない。本物質を皮膚に接触させないこと。眼に入れない。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。飲食物から遠ざける。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。適切な産業衛生および安全対策のもとに取扱う。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。子供の手の届かないように保管すること。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。理想的な保管温度は 16～38℃。

安全な容器包装材料 保管上の注意

元の容器で保管する。
 容器を密閉し、室内で保管するときは、乾燥した換気のよい場所に保管する。内容物を湿気から遠ざける。汚染された容器を再シールしないこと。汚染されていない容器は、湿気のない状態で、容器内を窒素置換した後にのみ再シールすることができる。銅、銅合金または亜鉛メッキ表面でできた容器に保管してはならない。

8. 暴露防止及び保護措置

予防措置

呼吸器感作性物質を取り扱いまたは接触するすべての従業員の医療監督喘息型疾患、慢性気管支炎、他の慢性呼吸器疾患または再発性皮膚湿疹または皮膚アレルギーを含む呼吸器系の問題を抱えている人は、この製品を使用することの適性判断が必要となる。人が感作されたと診断されたら、感作を引き起こした物質へのそれ以上の暴露を避けなければならない。

技術的管理

局所排気装置を使用して空中濃度を TVL（作業環境許容濃度）以下に維持する。換気が不十分な場合は、適切な化学薬品カートリッジマスク等を使用する必要がある。工学的管理措置に関する一般的なガイダンスについては、ACGIH の最新版「Industrial Ventilation」, 「Recommended Practice」のマニュアルを参照。

洗眼噴水および安全シャワーにアクセスできるようにする必要がある。

不浸透性の防護服を着用する。

呼吸器の保護

PEL（許容暴露限度）を超えた状態で作業する場合は、必要に応じて、ANSI および OSHA によって承認されている化学薬品カートリッジマスク、または給気フードを使用する。
 NIOSH / MSHA 承認の送気マスクが好ましい。空中監視が該当する暴露限度の 10 倍を下回る蒸気レベルを示している特定の状況では、カートリッジ式呼吸マスクが適切な場合がある。
 緊急事態、限られたスペース、または確立された曝露限度を大幅に超える可能性があるその

製品名: PJ-006 Polyurea-B (標準型 006)

会社名: Polyurea Japan, Inc. 整理番号: PJ006/02 判番号: 03 2019/10/14

他の条件には、承認された給気式呼吸マスクが必要となる。呼吸用保護具の使用に関する OSHA 規制 (29CFR 1910.134) を順守すること。	
眼の保護具	化学安全ゴーグルを使用する。飛散する可能性がある場合は、全面シールドタイプのものを使用する。
手の保護	リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した耐薬品性のある不浸透性の手袋を常に着用する。
皮膚の保護	次の保護剤を使用することを推奨する。 手袋: ネオプレン、ニトリルゴム、およびブチルゴム。薄いラテックスの使い捨て手袋は、繰り返し使用する場合や長期間使用する場合は使用を避ける。 露出肌: バリアクリームを使用する。 防護服: ACGIH が発行している「化学防護服の選択のガイドライン」に従って選択して使用する。
呼吸器の保護	十分な換気を行わずに製品をスプレーまたは加熱する場合は、承認された MSHA / NIOSH 陽圧型給気呼吸器が必要になることがある。有機蒸気カートリッジと HEPA (P100) 微粒子フィルタを備えた空気清浄用マスクは、OSHA 呼吸保護基準 (29 C.F.R. 1910.134) に従ってカートリッジ交換スケジュールが作成されている場合、特定の条件下で使用できる。
作業衛生習慣	化学物質を取り扱うための通常の予防措置に従う。 食べ物や飲み物から遠ざける。 汚染された衣類を直ちにすべて取り除く。 眼、皮膚、衣服との接触を避ける。 使用後は手を洗う。 汚染された衣服と靴を再使用する前にすべて洗い流す。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	粘性液体
色	淡黄色～淡褐色
臭い	アミン臭
pH	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	>307°C
引火点	>184°C (密閉式カップ)
自己発火温度	>316°C
比重	0.98～1.02
溶解度 (特定の溶媒)	中程度
爆発性	なし
蒸気圧	0.9 mmHg (20°C)
蒸気密度	>1 (Air = 1)
揮発性有機化合物 (VOC)	0 グラム/リットル

10. 安定性及び反応性

安定性	法規制に従った保管及び取扱いにおいて室温で安定である。
反応性	水 (湿気) と反応すると CO ₂ ガスが発生する。活性水素基を含む物質との発熱反応の混和性が良好であるか、または攪拌によってもしくは溶媒の存在によって支持される場合、反応は次第に活発になり、より高い温度で激しくなることがある。
避けるべき条件	高温を避ける。凍結を避ける。容器内の湿気を避ける。汚染が疑われる場合、容器を再度密封しない (CO ₂ による圧力が発生する可能性がある)。
混融危険物	酸 (酸と反応する)。
危険有害な分解生成物	燃焼生成物: アンモニアの毒性レベル窒素, 炭素, いくつかのアルデヒドおよびケトンの酸化物。
危険な重合	発生しない。

11. 有害性情報

慢性的な健康への危険性	IARC, NTP, または OSHA にリストされている発がん物質なし。イソシアネートに敏感な人は、反復暴露によりアレルギー反応が増加します。
急性毒性 (経口)	ラット LD ₅₀ 485 mg/kg

製品名: PJ-006 Polyurea-B (標準型 006)

会社名: Polyurea Japan, Inc. 整理番号: PJ006/02 判番号: 03 2019/10/14

急性毒性 (皮膚) ラット LD50 700 mg/kg

12. 環境影響情報

水性環境急性有害性

データ不足のため分類できない

水性環境慢性有害性

データ不足のため分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄物

可能な限り、無駄の発生を避けるか最小限に抑える。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

14. 輸送上の注意

US DOT

DOT の分類

アミン、液体、腐食性 N.O.S.

適切な輸送名

塗料 (塗料, ニス, エナメル, ステイン, シェラック, ポリッシュ, 液体フィラー, 液体ラッカーベースを含む) または塗料関連物質 (塗料の薄層化または減量用コンパウンド含む)

ハザードクラス

8

UN 番号

UN3066

パッキンググループ

III

国内規制

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

国連番号

3066

国連分類

8

品名

アミン、液体、腐食性 N.O.S.

パッキンググループ

III

陸上規制情報

消防法の規定に従う。

国連番号

3066

国連分類

8

品名

アミン、液体、腐食性 N.O.S.

パッキンググループ

III

航空規制情報

航空法の規定に従う。

国連番号

3066

国連分類

8

品名

アミン、液体、腐食性 N.O.S.

パッキンググループ

III

15. 適用法令

消防法

危険物

該当しない。

指定可燃物

該当しない。

労働安全衛生法

該当しない。

毒物および劇物取締法

該当しない。

化学物質排出把握管理促進法

該当しない。

(PRTR 法)

船舶安全法

腐食性物質
(危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1)

航空法

腐食性物質
(施行規則第 194 条危険物告示別表第 1)

製品名: PJ-006 Polyurea-B (標準型 006)

会社名: Polyurea Japan, Inc. 整理番号: PJ006/02 判番号: 03 2019/10/14

記

本文中の記載内容は、十分な配慮と現時点で入手できる情報に基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。その内容について明示または黙示の保証をするものではありません。含有量、物理化学的性質等は保証値ではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施してください。